

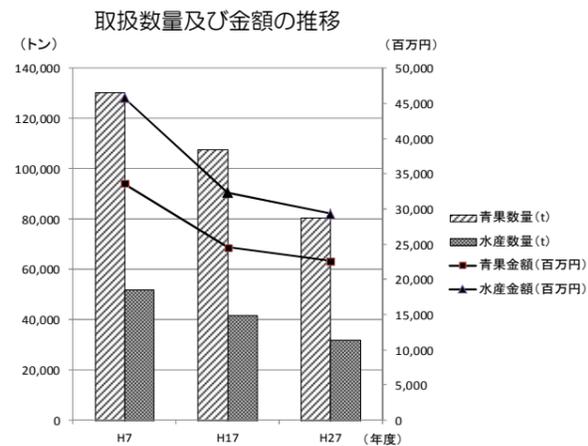
岡山市中央卸売市場戦略的経営展望概要版

I 経営展望策定の経緯と目的

開設者及び市場関係者が一体となって、市場の位置付け・役割、機能強化の方向等を含めた市場運営のあり方を明確にし、市場としての経営戦略を確立するため、平成 23 年度に平成 24 年度から平成 33 年度を取組期間とする経営展望を策定した。

今回、市場機能強化に向けて必要な施設整備を計画する中で、消費者や実需者のニーズに対応し、その期待に応えていくことができるよう、平成 29 年度から平成 33 年度までを取組期間として見直しを行ったものである。

II 岡山市中央卸売市場の状況



III 岡山市中央卸売市場を取り巻く環境の変化

1 外部環境の変化

- 人口減少
- 卸売市場経由率の減少
- 野菜・果物の消費の低迷
- 消費者の魚離れ
- 国の規制緩和への動き
- 小規模小売店の減少、スーパーの増加
- 消費者の食料品の購入先としてスーパーが増大
- 量販店による定温・低温管理の要請 など

2 内部環境の変化

<岡山市中央卸売市場の強み>

- 流通網の結節点に位置
- 農産物生産に適した気候風土
- 白桃、マスカット、黄ニラ等高品質な農産物が存在
- 関連事業者売場棟の一般開放 など

<岡山市中央卸売市場の弱み>

- 施設の老朽化、機能不足
- 災害時、非常時への対応の不足
- 売買参加者数の減少
- 関連事業者売場棟への来場者の伸び悩み など

IV 岡山市中央卸売市場が目指す目標像

岡山市中央卸売市場が目指す目標像

市民・県民の食を支える拠点市場

- 品質管理や災害対策をしっかりと進め、その基盤を整えるとともに、卸売市場の公共的役割を強化するものとして、生活者に密着した多角的な消費支援を行う市場を目指す。
- 環境への負担低減に取り組むなど新たな価値形成への対応を進め、消費者により信頼される市場づくりを進める。

中国地方東部の物流を支える拠点市場

- 地域内外の生産者や地方市場との連携強化により、岡山県内の生鮮食品流通の拠点としての機能を強化する。
- 県外の広域的な市場間連携や県外小売業者等との連携により、中国地方東部における食品流通の拠点化を図る。

農業・漁業を支える拠点市場

- 消費の促進や新たな販路開拓などにより産地を支援する。
- 生産者との連携により、地域ブランド商品の開発を進め、高付加価値な食品の流通を目指す。

V 基本戦略の設定

基本戦略

1 集荷販売力の強化

2 安全・安心な商品の供給

3 商品の付加価値の向上

4 防災への対応

5 環境への対応

6 関連事業者売場棟の活性化

VI 基本戦略の展開

取組・検討内容 (平成 29 年度～平成 33 年度)

- ① 集荷力強化に向けた産地情報の把握と集荷先の開拓、② 全農等産地の出荷団体との連携強化、③ 地場産品の取扱い強化、④ リテールサポートへの取組み、⑤ 多様な販売先の確保、⑥ 青果物の加工施設の整備、⑦ 県外市場との連携、⑧ 県内地方市場との連携

- ① 食品衛生管理の規範づくりと行動の徹底、② 卸売場等の低温化、③ 低温保管施設(青果)整備、④ 卸売棟南側の屋根付荷受場・荷捌場の整備、⑤ 卸売棟北側の屋根付荷捌場の整備(青果)、⑥ 立体駐車場の整備、⑦ 場内衛生管理マニュアルの作成とチェック体制の確立、⑧ 安全・安心な情報整備・発信

- ① 新たな岡山産品のブランド化

- ① 事業継続計画(BCP)の策定、② 非常時における物資供給、③ 施設の耐震改修工事、④ 水産側スロープの整備、⑤ 卸売棟(卸売場)の老朽化対策、⑥ 卸売棟(仲卸売場)の老朽化対策、⑦ 関連事業者売場棟の老朽化対策、⑧ 関連事業者売場棟のスプリンクラー設置

- ① 市場冷蔵のフロンガス対応、② 排気ガス対策、③ 太陽光発電システム、④ 照明のLED化

- ① 関連事業者売場棟の活性化